

報道関係者向け現場見学会を開催

～中部ものづくり産業を支える名古屋港の港湾事業を紹介～

6月26日(火)、名古屋港内にて、報道関係者の方々を対象とした見学会を開催します。

名古屋港では、中部のものづくり産業を支える港湾物流機能の強化・維持に不可欠な事業を実施しています。今回の見学会では、普段は入ることのできない制限区域内にて実施中の港湾工事を特別に取材頂けます。

■見学会概要

日 時 : 平成30年 6月26日(火) 13時30分～16時00分

※荒天等により、中止となる場合があります。

見学場所 : ①名古屋港ポートアイランド 及び ②飛島ふ頭東 R1 岸壁

(各事業の概要については、別紙1を参照ください)

集合場所 : 名古屋港弥富ふ頭 (愛知県弥富市楠3-24、別紙2を参照ください)

実施内容 : 事業概要の説明、工事概要の説明、各現場の見学



①名古屋港ポートアイランド



②飛島ふ頭東 R1 岸壁

[鋼管矢板打設(継杭作業)の状況]

■申込について

見学場所の飛島ふ頭東 R1 岸壁は、国際条約に基づく立入制限区域のため、必ず事前申込が必要になります。別紙3「見学会申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてご送付ください。

■配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデイリーニュース

■問合せ先:

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 課長 外山 裕司(とやま ゆうじ)、係長 岩田 直樹(いわた なおき)

Tel 052-651-6763 Fax 052-652-0303

① 名古屋港ポートアイランド

名古屋港では、港湾物流機能を強化・維持するため、船舶大型化へ対応や庄内川からの流入土砂による堆積土砂の浚渫を実施しています。ポートアイランドは、毎年 60 万～100 万 m³ の浚渫土砂を受け入れる重要な施設です。

昭和 50 年の埋立開始以降、名古屋港及び背後圏産業の発展に伴い約 40 年間で約 5,000 万 m³ の土砂を受け入れてきました。

受入容量確保のため、仮築堤の嵩上げ、土砂仮置きを行っており、現在では、海面より最大 16m の高さに達しています。

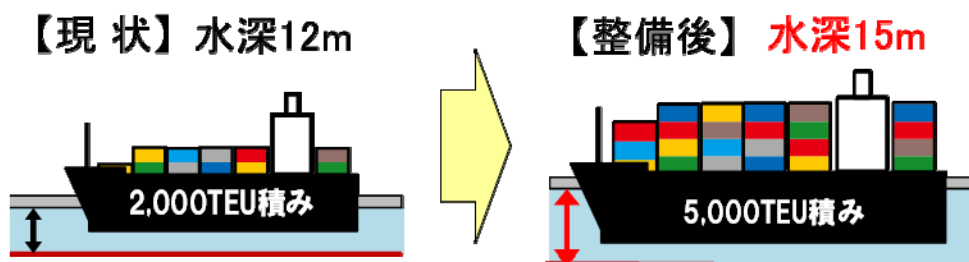


ポートアイランドの土砂処分状況

② 名古屋港飛島ふ頭東 R1 岸壁

飛島ふ頭地区において、コンテナ船の大型化に対応するため、既存施設の老朽化対策と併せて岸壁の増深・耐震改良を行っています。海上輸送コストの削減、災害時の物流機能確保など、背後産業を支える注目の高い事業となっています。

本工事では、取扱貨物量日本一の名古屋港の国際物流機能を止めないために、施設管理者、ターミナル利用者等様々な関係機関と調整を行い、岸壁を利用しながら工事を進めています。



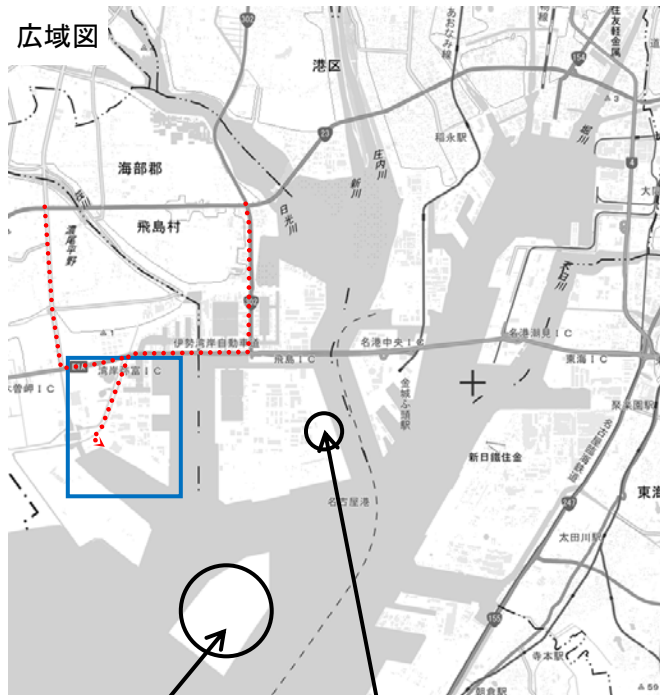
事業実施による船舶大型化のイメージ

名古屋港現場見学会 集合場所案内

日時:平成30年 6月 26日 (火) 13時30分~16時00分

場所:名古屋港弥富ふ頭 (愛知県弥富市楠3-24)

※13時20分までに集合場所へお越しください。



見学場所①
ポートアイランド

見学場所②
飛島ふ頭東 R1



弥富ふ頭集合場所(国土地理院地図使用)

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課 宛
FAX 番号:052-652-0303

見学会申込書

申し込み方法:以下の欄に記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

会社名及び部署名	会社名 : _____ 部署名 : _____
見学者 ※全員分の氏名及び 役職を記入願いま す。	代表者氏名: _____ 役職: _____
	同行者氏名: _____ 役職: _____
連絡先 ※代表者の連絡先を 記入願います。	電話番号 : _____ FAX 番号 : _____
お車の情報 ※車の台数を記入願 います。	台数 : ____台(普通車)、__台(その他の場合、車種記載ください) ※普通車以外も含まれる場合は、車種及びに台数記入願います。

申込締め切り : 平成30年 6月19日(火) 12:00必着

※船舶の乗員定員に達し次第、受付を終了させていただく場合があります。予めご了承ください。